

堺市指定管理者評価表

(評価対象期間 : 令和4年4月1日 から 令和5年3月31日 まで)

1 基本情報

(1) 公の施設の名称	
堺市立桐文化会館	
(2) 施設の設置目的	
市民文化の創造及び振興に寄与するため	
(3) 所管部局	
文化観光局 文化国際部 文化課	
(4) 指定管理者名	
公益財団法人堺市文化振興財団	
(5) 指定期間	
令和2年4月1日から令和7年3月31日まで(5年間)	
(6) 主な事業	
・ 貸館業務をはじめとする施設の管理運営に関すること ・ ホールなどを活用した文化芸術振興事業を行うこと ・ 施設設備の維持及び修繕等、保守管理に関すること ・ 消防訓練や避難経路の確保を行い緊急時の対応に備えること ・ 市から貸与を受けた備品を適切に管理すること ・ 利用者の意見を管理運営に反映させるため、アンケート等による意見聴取を行うこと	
(7) 施設分類	(8) 有料施設の有無
文化・教育施設	有 (利用料金制)
(9) 選定方法(公募・非公募の別)	
公募	
(10) 主な利用者	(11) 市内における受益対象者数
市民	不特定多数
(12) 近隣の類似施設	
和泉シティプラザ	

2 管理運営状況

(1) 適正な管理運営の確保

ア 取組状況

平等利用、安全確保、個人情報の保護等	・危機管理マニュアルを整備し、消防訓練など安全確保に向けた取組を行った。また、消防局の職員を講師に招き、不審者・不審物対応訓練を行った。 ・情報セキュリティ研修を行うなど個人情報の保護に対する職員の意識付けを行った。
職員配置、人材育成、施設の維持管理等	・人権研修やワークショップ実践研修をはじめ多様な研修を実施した。 ・年度事業計画書に基づき保守点検を行い、不具合箇所の修繕を行うなど適切に維持管理を行った。
施設の設置目的に沿った事業の実施	・新型コロナウイルス感染症の影響を受けたものの、こどもミュージカルや地域団体等との連携事業、シリーズ化している寄席など、施設の設置目的に沿った事業を行うことができた。
その他特筆すべき取組	・桐文だよりの発行や友の会によるチケットの割引など桐文化会館独自の方法で繰り返し人に来てもらえるよう取り組んだ。

イ 市による状況分析

利用者のニーズや地域の特色を踏まえ、各サークル活動の舞台発表会を企画する等、地域住民の文化交流の場としての役割を担っている。また、多種多様な文化講座を開催することで様々な年齢層の誘致を行っている。

(2) 利用者サービスの向上

ア 利用状況

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
指定管理者名	公益財団法人 堺市文化振興財団	公益財団法人 堺市文化振興財団	公益財団法人 堺市文化振興財団	公益財団法人 堺市文化振興財団	公益財団法人 堺市文化振興財団
利用者数(単位:人)	146,162	76,090	107,823	124,493	—
稼働率(単位:%)	75.5	63.3	69.5	76.7	—
利用者満足度(単位:%)	82.5	92.1	95.1	95.2	—

イ 取組状況

サービス向上、利用促進	・稼働率の低い祝日、夜間を主軸に若年層に特化した文化講座やイベントを行った。 ・近隣の中高にある吹奏楽部にアプローチをかけ若年層の確保と活性化につなげた。
意見・苦情・要望等への対応	・かねてより意見としてあった初日受付の方法を利用者の利便性を鑑み、柔軟に対応したことにより利用者の待ち時間をカットすることに成功した。
その他特筆すべき取組	・新型コロナウイルス感染防止対策を講じながら桐文寄席(落語)や吹奏楽部コンサートなど様々な世代を対象とした事業を実施した。

ウ 市による状況分析

令和3年度に引き続き令和4年度も新型コロナウイルス感染症による影響を受けたが、利用者数や稼働率は回復傾向にあり、利用者満足度は高い値で推移している。

2 管理運営状況

(3) 収支

ア 収支状況

(単位:円)

■ 指定管理業務

指定管理者名		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度 (予算)
公益財団法人 堺市文化振興 財団		公益財団法人 堺市文化振興 財団	公益財団法人 堺市文化振興 財団	公益財団法人 堺市文化振興 財団	公益財団法人 堺市文化振興 財団	公益財団法人 堺市文化振興 財団
収入	指定管理料	91,634,000	102,497,084	103,528,199	99,143,130	98,980,000
	利用料金	16,895,898	10,095,115	16,733,642	20,670,925	20,000,000
	負担金	0	0	0	0	0
	その他	11,224,674	6,293,550	6,371,629	9,655,972	10,628,000
合 計		119,754,572	118,885,749	126,633,470	129,470,027	129,608,000
支出	人件費	40,044,482	35,360,727	36,267,570	36,542,535	37,721,000
	委託料	52,161,426	44,084,326	46,644,764	52,889,837	49,009,000
	総支出額に占める 委託料の割合	40.6%	39.7%	37.9%	39.9%	37.8%
	修繕費	1,174,137	2,264,108	3,101,362	1,725,152	3,520,000
	光熱水費	25,936,560	22,127,234	28,107,388	32,221,426	27,900,000
	その他	9,120,930	7,191,304	9,095,238	9,047,086	11,458,000
合 計		128,437,535	111,027,699	123,216,322	132,426,036	129,608,000
収支差額		-8,682,963	7,858,050	3,417,148	-2,956,009	0
(市への納付金の額)		0	0	0	0	0
(徴収委託の場合の徴収額)		—	—	—	—	—

■ 自主事業 (有)

(単位:円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度 (予算)
収 入	4,693,407	2,056,534	2,603,666	4,017,652	4,384,000
支 出	4,274,273	2,550,533	2,898,238	4,271,193	4,040,000
収支差額	419,134	-493,999	-294,572	-253,541	344,000
(市への納付金の額)	0	0	0	0	0

イ 取組状況

経費の縮減、経理事務	新型コロナウイルス感染症の影響により一部事業の休止があったが、利用料金収入はコロナ禍以前の水準まで回復した。また、可能な限り節電に取り組むなど、光熱水費の縮減に努めた。
------------	--

ウ 市による状況分析

収入面は回復傾向にあるがエネルギー料の高騰による光熱水費の増加や、人件費高騰による委託料の増加が発生したため収支はマイナスとなった。

3 目標管理、総合評価

(1) 目標管理

ア 仕様書で定める目標の達成状況

■適正な管理運営の確保

指標	目標	実績
ホール活用事業	6回以上	6回
生涯学習施設活用事業	12回以上	205回

■利用者サービスの向上

指標	目標	実績
利用者数	180,000人以上	124,493人
施設稼働率	80%以上	76.7%
満足度	利用者の満足度:90% 文化芸術振興事業に対する満足度:90%	利用者の満足度:95.2% 文化芸術振興事業に対する満足度:96.6%

■収支

指標	目標	実績
利用料金収入	26,500,000円	20,670,925円

イ 市による状況分析

新型コロナウイルス感染症の影響から少しずつ回復しつつあり、事業回数は目標を達成したが、主に貸館利用の低迷により利用者数、施設稼働率はコロナ禍前までには及ばず、目標に届かなかった。

(2) 総合評価

目標の達成状況のほか、管理運営状況も含め、以下の評価基準により総合的に評価を行う。

	指定管理者	所管課
評価	B	B
評価の理由	ホール活用事業の実施回数に大きな変動はなかったものの、生涯学習事業は大きく実施回数を伸ばすことができた。また、利用者の満足度は若干だが改善し、利用者数も回復傾向にある。さらに収入に関しては利用料金、その他収入に関して令和3年度の実績を上回った。	新型コロナウイルス感染症の影響があったものの、多種多様な事業を行い令和3年度より収入や入場者数を増加させたのは評価できる。
今後の取組	多様な事業の企画、立案を行う。新規利用者獲得のため主催事業の周知に様々な媒体を利用し、イベントに合ったターゲットにPRできるよう広報の強化を図る。	新規利用者の確保や稼働率の低い諸室の利用向上に向けた広報活動など、多くの方が文化芸術に触れる機会をより多く享受できるように図りたい。

評価基準	A	仕様書で求める目標や水準を上回る管理運営がなされ、優良であるもの
	B	概ね仕様書で求める目標や水準どおり(80~100%)の管理運営がなされ、適正であるもの
	C	管理運営が仕様書で求める目標や水準を下回っており、努力が必要であるもの
	D	管理運営が適切に行われたとは認められず、改善が必要であるもの